

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域・自宅での暮らしが維持できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ24時間・365日固定された時間にこだわらず、一人ひとりの生活に合わせ臨機応変に対応し、その人らしい生活、暮らし方が継続できるよう、一日の決められた日程等を設けることなく、家事活動を中心に利用者の持っている意欲、力を引き出し生きがいの持てる暮らしを目指しています。私たちは、可能な限り在宅で暮らすこと、最期までその人らしい人生を送っていただけるよう、その人の思いと願いを大切にしたい支援・サービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 藍住の家	管理者	西浦佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	1人	0人	0人	2人	1人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎日送迎後にミーティングを行い情報の共有に努める。	ミーティングの朝の出勤時に変更し継続して実施でき、情報の共有ができた。		朝にミーティングの実施の継続と申し送りノートを活用し、情報の共有に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	イベントの外出行事以外にもスタッフが忙しい時は希望に応じて外出を行う。	散歩やドライブなど定期的の実施できた。	いつ来ても、心地いい雰囲気である等	季節環境の工夫や外出イベントを通し、季節感を感じられる様努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・ご家族様にも参加頂ける行事の計画。 ・地域の方にも気軽に来ていただける環境を作る。	クリスマス会・敬老会にご家族様にも案内を行い参加していただいた。玄関を入りやすい雰囲気にし、地域の方にも気軽に来ていただけるよう環境整備を行った。	家族も参加できるイベントはありがたいが、県外在住の方は参加が難しい場合がある。	家族会を開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域行事にお誘いいただき参加している。今後も認知症カフェなどを通して地域行事の情報を得て参加する。	参加できない時もあったが、餅つき・秋まつりに参加させていただき利用者様も喜ばれていた。		祭や近所のイベントに参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の議事録を配布し事業所が行っていることを周知する。	運営推進会議の議事録、資料を配布し事業所の取組みの周知ができた。		運営新会議の資料・議事録を活用し事業所の取組みを知っていただく。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の防災訓練以外にも炊き出し訓練等定期的実施する。	グループ内合同の炊き出し訓練や施設ごとの水害・災害訓練に参加した。	自然災害はいつやってくるかわからないので、引き続き実施してほしい。	年2回の防災訓練等の継続。